

# Discord 簡易ボット

著者：関勝寿 公開日：2022 年 8 月 16 日 ソース：<https://sekika.github.io/2022/08/16/discord-bot/>

Discord のボットはサーバーに常駐させて使うものがほとんどである。常駐せずに、自分宛に特定のメッセージを送る、あるいは自分が管理するサーバー内のチャンネルに投稿する、といった動作をして、終わったらログアウトする簡易ボットを作成した。

定期的に `crontab` で実行するプログラム内で、実行結果を送信するような場合に便利である。

## 1. 準備

通常のボットと同様に、以下の準備が必要となる。

- ・ [ボットアカウントを作成](#) し、トークンを取得する。トークンを他者と共有してはならない。
- ・ サーバーのチャンネルに投稿する場合には、サーバーに招待する。
- ・ `python3 -m pip install -U discord.py` によって `discord.py` を読み込む。

次のモジュールを `espresso.py` という名前で保存する。

```
{% gist aff133b238bdfb8ebc1e67ec89bf7f44 %}
```

## 2. 実行方法

以下の Python コードで、ユーザー宛に「やっほー」というメッセージを送信し、チャンネルに「こんにちは!」という投稿をする。パラメータはあらかじめ以下のように設定する。

- ・ `path` (str 型) は `espresso.py` が保存されているディレクトリである。同じディレクトリに入れる場合には最初の 2 行は不要である。
- ・ `user_id` (int 型) には「やっほー」と送信するユーザーの ID (ユーザー名とは無関係の整数) を入れる。ユーザー設定の「詳細設定」で「開発者モード」をオンにすると、ユーザーを右クリックすることで「ID をコピー」することができるようになる。
- ・ `channel_id` (int 型) には「こんにちは!」と投稿するチャンネルの ID (整数) を入れる。開発者モードにすると、チャンネルを右クリックして ID をコピーできる。
- ・ `token` (str 型) にはボットのトークンを入れる。プログラムを共有する場合にはトークンを共有しないように別ファイルで管理するなどの注意をする。

```
import sys
sys.path.append(path)
import discord
import espresso
client = espresso.Client(intents=discord.Intents.default())
client.send_dm(user_id, 'やっほー')
client.send_channel(channel_id, 'こんにちは!')
client.run(token)
```

補足

- ・ `client.send_dm` と `client.send_channel` はそれぞれ何回実行しても良いが、`client.run(token)` で投稿をした後は同じプログラム内では投稿できなくなる。
- ・ 特定のユーザー ID 宛にメッセージを送る `send_dm_me(message)` というメソッドや、特定のトークンでボットを走らせる `run_bot()` というメソッドを `Client` クラスに作っておくことで、より手軽に呼び出すことができる。

## 3. 参考

- ・ [discord.py ドキュメント](#)
- ・ [How to create a non-interactive Discord bot](#) (Honza Javorek, Feb 6, 2021)